

## 第14回グリーンプランおおた推進会議議事概要

日 時：平成 27 年 11 月 9 日（金）18：00～20：00

会 場：消費者生活センター

出席者：【推進会議委員】島田委員長、平賀委員、谷委員、長谷川委員、樋口委員、平澤委員、牧野委員、原田委員、龍口委員、黒澤委員、荒井委員、佐藤委員  
（欠席 2 名）

【庁内委員】関係各課長(代理含む)7名

【傍聴者】1名（庁内関係職員 8 名） 【事務局】4名

- 1 開会
- 2 事務連絡
- 3 挨拶（島田委員長）

### 4 議事概要

（1）第 13 回推進会議の振り返り

<事務局より資料説明>

（2）推進会議分科会について

<事務局より資料説明>

### 委員長

- ・分科会に参加した 3 委員から一言ずつお話をして頂いた後、皆さまからご意見、ご質問を頂きたい。

### ●委員

- ・中間見直しは、項目がかなり整理され、非常に見やすくなった。
- ・名木百選は、百選にこだわらず方向転換して、まずは公園の部の名木選にしたことが良い。
- ・呑川については、東京都、上流の区と一緒に浄化研究を進めているということで、これを更に進めて頂きたい。
- ・オリンピックに関連して大田スタジアム周辺の電線地中化が進むことは大変良い。これを更に広げていければ良い。
- ・サッカー人口が伸びているので、サッカー場は増やした方が良い。

## ●委員

- ・●委員からお話があったように、項目が整理されて、非常にわかりやすく、良くなった。
- ・大田区の公園全部を対象に、改めて機能配置、各公園の役割を再検討することで、個性ある公園ができると思う。そういう施策も良いのではないか。
- ・18色のみどりづくりは、非常に成功している例である。これは行政のアイデアであったが、実際の活動において、自分たちが決めていくという、みんなの意欲が結集していることが成功の要因であると思う。

## ●委員

- ・魅力ある公園とは何かということで、改めて全体の公園をリスト化し、それぞれの目的、あるべき方向性を整理した方が良いとの議論があった。
- ・長期的な視点に立って公園の方向性を見直すべきであると思う。児童公園以外にシニア向けの公園を設定しても良い。
- ・オリンピック・パラリンピック関連では、競技場もあるため、ホッケーの場所などを改めて整備できるのではないか。
- ・川崎市や品川区では自転車の道が整備されているが、大田区ではそうした取組みが弱い。レンタサイクルやサイクリングコースなどを整備できる場所があると思う。
- ・サッカー場は、高倍率の抽選になっているので、申し込み数のデータを使って、区民から何が求められているのかを整理し、今後の計画に反映すると良い。

## 委員長

- ・いずれも今後の大田区のグリーンプランにとって重要な意見である。
- ・事務局では、今後の施策に反映して頂きたい。
- ・この報告について、承認頂けることでよろしいか。(一同異議なし)
- ・次第の(3)グリーンプランおおたの中間見直しについて説明をお願いしたい。

### (3) グリーンプランおおたの中間見直しについて

<事務局より資料説明>

## 委員長

- ・中間見直しについて報告して頂いた。
- ・皆さまから頂いた意見を反映していると思う。
- ・委員の皆様からご質問・ご意見をお願いしたい。

## 【質問・意見等】

### ●委員

- ・この資料を作り上げるには大変な苦勞だったと思うが、正直言ってこの資料を総体的に読み切れない、検討しきれない。
- ・こういうところが問題点なので、こういうところは是正したい、あるいはご意見を頂きたいという議事の進め方であれば意見も言いやすい。
- ・計画書を編集している間に出た疑問点などを取り上げて、我々に問い掛けをして頂いた方が、意見として述べやすい。

→前回の推進会議で、今までの施策や事業を統合したり、名前を変えたりと、対比できるような形で提示し、ご了承頂きました。今回、その内容をたたき台としてまとめました。後日でも結構ですので、ご意見を頂ければと思います。今回の中間見直しの報告書をベースに、冊子全体について鋭意見直しをかけているところです。皆さまにご提示する方法は、今後また工夫をしていきたいと思っています。

<事務局>

### ●委員

- ・例えば、こういうご意見を頂いたので、こういうふうにしていこうなど、そういう示され方であれば意見が出やすいと思う。

### 委員長

- ・議事録にもあるように、とりまとめのたたき台には、一通り、皆さまから頂いた意見が反映されており、推進会議の分科会でお話して頂いたことも反映されている。
- ・区としては、見直しの報告書としてまとめたいので、改めて委員の皆さまからご承認を頂きたいとの考えであると思う。
- ・今回のたたき台を一から議論するのではないことは、ご了解を頂きたいと思う。

### ●委員

- ・前回の会議では、「みどり」がホームページのトップページから見られないので、ホームページの中での位置付けを検討して頂きたいと発言した。
- ・そうすると、10ページ、「みどりを楽しめる情報発信」を後期の重点施策に格上げしたとなっていて、大田区のホームページを見ると見事に変わっている。
- ・最初は「住まい・まちなみ・環境」、その次が「みどり」とあり、そこを押すと、よくまとまった項目が、わかりやすく並べられている。評価したいと思う。
- ・更に注文しすぎかもしれないが、期限があるもの、日にちが決まっているものは、見出しに日にちを入れて頂けると良い。

- ・区民の理解を得るには情報発信が大事だと思う。これからもこの精神で取り組んで頂きたい。

→今のご要望につきましても検討させていただきます。

<事務局>

委員長

- ・早めに改善できるものは、対応して頂ければと思う。
- ・今の発言も是非検討して頂きたい。

●委員

- ・「身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合」は、今は目標に未達ということか。数値に大きな変化はなく、若干、下がっていて、誤差の範囲内だと思うが、2020年にこの目標にジャンプアップできるのかどうか不安である。この指標のモニタリングを2020年より前のタイミングで実施して頂けると良い。
- ・緑被率、樹木の本数は未調査だが、確認のしようがないとPDCAが回せなくなると思う。(今年度)補正(予算)でやられるのか、来年度やるのかどうか。
- ・プランの見直しの統廃合は、きれいにまとまっているので良い。
- ・42ページ、「美しいまちなみ景観づくり」のところで、みどりの言葉がないが、美しいまちなみの定義にみどりは入っているのかどうか。
- ・まちづくりのランドデザインの蒲田駅西口広場、東口広場、大森駅のところで、花壇やみどりがどれくらい設計されるのか。

→「身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合」ですが、グリーンプランの計画を基に18色のみどりづくり、他の施策も含めながら、広報等の活動も広げて、この目標を達成したいと思います。未調査と書かれている緑被率、樹木の調査は、未来プランに向けて予算計上し、2020年の前には調査を実施したいと考えています。「美しいまちなみ景観づくり」は、みどりの表現が少ないというご指摘なので、担当部署と再調整したいと思います。蒲田、大森のまちづくりは、事務局から担当に連絡し、みどりの部分の表現や現地でのみどりの整備等について調整したいと思います。

<事務局>

●委員

- ・下がっている原因を調べてほしい。

→下がった部分については再度、調査を行います。

<事務局>

●委員

- ・質問の仕方は同じか。質問の仕方によって結果が変わってくることもある。

→同じ内容で質問しています。

<事務局>

●委員

- ・「緑の多さの満足度」も若干下がっている。
- ・みどりが実質的に増えているにもかかわらず、満足度が減るという逆の結果になっている。

→結果を調査し、次回以降報告します。

<事務局>

●委員

- ・調査を実施した時期も影響しているのではないか。

→調査の日時も含めて整理します。

<事務局>

委員長

- ・意識調査は私も研究で行うが、調査方法は十分に考える必要がある。
- ・夏に実施する場合と冬に実施する場合とでは結果が異なり、平日に実施する場合と土日実施する場合でも異なる。意識調査はそれくらいの判断と考えた方が良い。
- ・ただし、下がったということであれば、下がった理由がないとPDCAが回らなくなる。調査の方法も含めて、結果への対応を十分に検討した方が良い。
- ・今の報告については、以上でのご了解を頂けるか。(一同異議なし)
- ・次第の(4)(仮称)みどりの総合パンフレットについて説明をお願いしたい。

(4)(仮称)みどりの総合パンフレットについて

<事務局より資料説明>

委員長

- ・みどりの総合パンフレットについて、説明して頂いた。

- ・委員の皆様からご質問・ご意見をお願いしたい。
- ・パンフレットができたなら、どこに置くことになるのか。

→区の身近な窓口として、18の出張所や図書館、公共施設などに配布し、取組みを理解して頂きたいと思います。

<事務局>

#### 委員長

- ・ホームページからもダウンロードできるのか。

→できます。

<事務局>

#### ●委員

- ・説明があった景観計画、景観条例についてだが、別途、区が景観の表彰、推薦をしていると思う。この取組みは事務局が関係しているのか。整合性を聞かせてほしい。

→まちづくり推進部まちづくり管理課都市計画担当で、景観まちづくり賞の取組みを進めています。各課の事業紹介で後ほど詳細を説明します。

<事務局>

#### ●委員

- ・確認のため質問したが、並行して進めていることがわかった。

#### ●委員

- ・2ページの目次では、個々の施策が区民向けなのか、事業者向けなのかをはっきり書いた方が良い。
- ・各施策については、フラグを付けるなどして、事業者、商店街、学校など、誰が使える施策なのかが見やすくなると良い。
- ・掲載写真がどこの場所の写真なのかを書いた方が良い。
- ・インターネットにアップする場合、各施策にリンクするURLを貼れると良い。

→目次の改善について、対応させていただきます。また、各施策にマークを付けることや写真等の引用も取り入れ、ホームページのURLについても、関連する部分とリンクが取れる形で進めます。<事務局>

●委員

- ・1ページの「安全・安心を提供するみどり」の中に、木が防火樹の働きをすることや、緑地が火災を防ぐといった分かりやすい言葉が入ると、みどりと防災がつながってくると思う。

→防災と緑の関係について、工夫して表現したいと思います。〈事務局〉

●委員

- ・お問合せ先を細分化し、親切にしていると思うが、一般の人が見た際に、どこにかければ良いのか分からないかもしれないので、もう少しまとめて頂いた方が良い。

→事務局でも、同じ連絡先が並んでいて逆に見づらいのではないかとの意見が出ていました。利用する側に立って、問合せ先についても一度検討します。 〈事務局〉

●委員

- ・青い線で連絡先が記載されているが、パンフレットにQRコードを付けることはできないか。スマートフォンを持っている人が多いので、読み込んでダイレクトにホームページまでアクセスできると良い。
- ・大田区は地域によって特色があるので、まちの緑の図・名木選は、興味があるエリアに導いてくれる仕組みがあると良い。

→パソコンやスマートフォンを利用している人は多いと思うので、QRコードなどの導入可能性を検討します。〈事務局〉

●委員

- ・6ページの「みどりを知り、親しむ機会の提供」で、色々な講習会が書かれているが、NPO 法人大田・花とみどりのまちづくりでは、日常的に来てもらえる場として「みどりの縁側」を運営している。パンフレットに載せて頂き、手に取った人が来てくれると嬉しく思う。

→パンフレットへの掲載について改めてご相談させていただきます。〈事務局〉

委員長

- ・更にご意見があれば、事務局まで連絡してほしい。
- ・それでは次第の(4) 主な事業の進捗状況について、説明をお願いしたい。

<事務局より資料説明>

委員長

- ・主な事業の進捗状況について説明して頂いた。
- ・委員の皆様からご質問・ご意見をお願いしたい。

●委員

- ・大田区景観まちづくり賞は、グリーンプランのような緑化推進も評価指標になっているのか。応募要領には載っていなかったなので、教えて頂きたい。

→景観まちづくり賞では、「街並み景観部門」と「景観づくり活動部門」の2部門で募集しました。全てがみどり、水にマッチしている訳ではありませんが、「街並み景観部門」は、周辺環境との調和に配慮が見られる等の建築物と街並み、みどり（樹林地・生垣等）を対象として募集しました。

「景観づくり活動部門」では、例えば、18色のみどりづくり、ふれあいパーク活動も対象になります。今年が初めなので、まずは色々な人から応募してもらいたい趣旨で進めています。<都市計画担当課長>

●委員

- ・審査員は公表されているのか。

→審査員は景観審議会の中の専門部会委員で構成しており、大学の先生などをお願いしております。<都市計画担当課長>

●委員

- ・洗足池の勝海舟ミュージアムの改修を進めているが、図書館の裏とお寺の間に遊歩道を整備すると聞いている。その計画はこちらでやっているのか。

●委員（都市基盤整備部長）

- ・洗足池の勝海舟記念館へのアプローチは現在計画中で、その中でご協力をお願いする話がいつていると思います。予算がまだ議会を通過していないため、具体的な話はできませんが、可能性を探っている中で、そのような話がいったところ です。

委員長

- ・時間の関係もあるので、本日はこれ位にしたいと思う。
- ・本日は5つの議事があったが、後日、意見があれば、11月20日頃までに事務局にお願



いしたい。

●委員（まちづくり推進部長）

- ・このパンフレットは2年間かけて予算当局を突破した大事なパンフレットです。10を超えるリーフレット等を全て揃えなければ全体が見えない状況から、初めて総合パンフレットを作る機会となります。
- ・パンフレットに対する意見は、もう少し長く取れないでしょうか。

→2月の推進会議にはある程度出来上がったものをご提示したいので、12月10日頃までにご意見を頂ければ、反映できると考えております。今回の会議の意見等は11月20日頃、総合パンフレットは12月10日までに頂きたいと思います。＜事務局＞

委員長

- ・委員の皆様にはよろしくお願ひしたい。

●委員（環境清掃部長）

- ・一言よろしいでしょうか。大田区は環境に優しいまちづくりとして、水素カーを公用車として導入しました。区民の皆様には水素で走る燃料電池車をアピールするため、ブルートライアングルプロジェクトのPRも一緒にしていきたいということで、今回アオスジアゲハのデザインを取り入れました。
- ・皆様も街なかで見かけることがあるかもしれませんが、水素カーが走っていることを周りの方へ広めて頂きたいと思ひます。

委員長

- ・水素カーに出会うことを楽しみにしたい。

平澤委員

- ・700万円くらいするのではないか。

●委員（佐藤環境清掃部長）

→大田区はリースで導入しました。

●委員

- ・水素で走っていることが一般的に分かりにくいので、「水素カー」というフラグを着けると良い。

●委員（環境清掃部長）

→後ろに「水素で走る燃料電池車」と入れてあります。もっと大きくPRする声もありましたが、スマートさを優先させて頂きました。

委員会

- ・他に発言がなければ、時間ということもあり、本日の会議を終了する。

5 閉会

以上